

令和2年6月

【情報提供】

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた 「救急蘇生法の指針2015」の追補について

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、厚生労働省より標記追補が公表されました（作成：一般財団法人日本救急医療財団 心肺蘇生法委員会）。その要点は下記のとおりです。

中央労働災害防止協会

記

1. 基本的考え方

- 胸骨圧迫のみの場合を含め心肺蘇生はエアロゾル（ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気）を発生させる可能性があるため、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応する。
- 成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施する。

2. 救急蘇生法の具体的手順

- 「反応の確認」「呼吸の観察」の際の留意点
確認や観察の際に、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないようにする。
- 「胸骨圧迫」の際の留意点
エアロゾルの飛散を防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルなどがあれば傷病者の鼻と口にそれをかぶせる。マスクや衣服などでも代用できる。
- 「胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ」の際の留意点
成人に対しては、救助者が講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合でも、人工呼吸は実施せずに胸骨圧迫だけを続ける。

○「心肺蘇生」の実施の後の留意点

救急隊の到着後に、傷病者を救急隊員に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄するのが望ましい。

- ※上記手順に記載のない点は、従来どおりの一次救命処置を実施する。
- ※子どもの心停止に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施する。

「救急蘇生法」掲載テキスト

- ・衛生管理（上）—第1種用— —第2種用—
- ・令和2年度版 第1種/第2種 衛生管理者試験問題集 解答&解説
- ・潜水士テキスト—送気調節業務特別教育用テキスト—
- ・潜水士試験問題集—模範解答と解説（120題）—
- ・安全衛生推進者必携
- ・新入者安全衛生テキスト
- ・「新入者安全衛生テキスト」指導のポイント
～新入者教育を充実させるために～
- ・アーク溶接等作業の安全 —特別教育用テキスト—
- ・フルハーネス型墜落制止器具の知識 —特別教育用テキスト—
- ・高圧・特別高圧電気取扱者安全必携 —特別教育用テキスト—
- ・低圧電気取扱者安全必携 —特別教育用テキスト—
- ・乾燥作業の安全—乾燥設備作業主任者テキスト—
- ・特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者テキスト
- ・有機溶剤作業主任者テキスト
- ・有機溶剤中毒予防の知識と実践—作業員用教育テキスト—
- ・酸素欠乏症等の防止—特別教育用テキスト—
- ・酸素欠乏危険作業主任者テキスト
- ・除染等業務の作業指揮者テキスト
- ・特定線量下業務従事者特別教育テキスト
- ・衛生推進者必携
- ・衛生管理者の実務—能力向上教育用テキスト—
- ・特定化学物質作業主任者の実務 —能力向上教育用テキスト—
- ・有機溶剤作業主任者の実務-能力向上教育用テキスト-